本令ハ大正十五年法律第五十四號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

六　產業組合法第六條ノ三ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ノ一部委任ニ關スル件

昭和七年十月二十五日農林省令第三十三號

第一條　產業組合法第六條ノ三第一項ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル組合ニ關スルモノニ在リテハ同法第八條、第三十九條第三項、第五十九條、第六十條、第六十一條、第六十二條ノ二第一項及第六十五條ニ規定スルモノヲ除クノ外、其ノ他ノ組合ニ在リテハ同法第五十九條、第六十條及第六十一條ニ規定スルモノヲ除クノ外主タル事務所所在地ノ地方長官ニ之ヲ委任ス

一　二道府縣ノ區域ノ全部ヲ區域トスル組合

二　區域カ二以上ノ道府縣ノ區域ヲ超ユル組合

第二條　產業組合法第六條ノ三第一項ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權中同法第五十九條、第六十條及第六十一條ニ規定スルモノハ組合ノ主タル事務所所在地ノ地方長官ニ於テモ之ヲ行フコトヲ得但シ前條各號ニ掲クル組合ノ解散ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三條　前二條ノ規定ハ產業組合法第八十一條ノ規定ニ依リ準用セラルル同法第六條ノ三第一項ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ニ之ヲ準用ス但シ全國ヲ區域トスル聯合會ニ關スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四條　產業組合法施行規則第二十條第二項ノ規定ハ第一條又ハ前條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ職權ノ一部委任アリタル組合及聯合會ニ付テハ之ヲ適用セス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和七年十月二十五日）

產業組合申請届出報告書式例

産業組合申請届出報告書式例

産業組合許可認可申請書例

産業組合設立許可申請書

◉産業組合設立許可申請ノ場合ハ左ノ書類ヲ主タル事務所所在地ノ市町村長ヲ經由シテ知事ニ提出ノコト

産業組合設立許可申請

今般産業組合法ニ依リ何責任何々組合ヲ設立致度候ニ付御許可相成度別冊定款相添ヘ此段及申請候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
出資何口　職業　氏　名㊞

郡(市)村(町)字番地
出資何口　職業　氏　名㊞

（以下設立者全員）

石川縣知事　殿

提出期限）　定款作成後速ニ

（添附書類）　定款（二通）

◉定款ニ左ノ事項ヲ規定シタル場合ハ事由書一通ヲ要ス

一、出資一口ノ金額カ五十圓ヲ超ユルトキ

二、一組合員ノ有スヘキ出資口數カ三十口ヲ超ユルトキ

三、拂込ミタル出資額ニ對スル剩餘金配當ノ率カ年六分ヲ超ユルトキ

四、事業年度カ曆年ニ依ラザルトキ

五、信用組合ノ區域カ一市町村ノ區域ニ依ラザルトキ

六、事務所ヲ區域外ニ設置セントスルトキ

七、總代會ヲ設クルトキ

◉產業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行フ利用組合ノ設立許可申請ハ更ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類二通ヲ提出ノコト

一、申請ノ理由

二、設備ノ規模及其ノ能力

三、組合員ノ設備利用ノ程度

四、設備ニ關スル事業施行ノ方法

五、設備費

六、一事業年度ノ收支概算

七、組合員數、組合員戶數、區域內戶數及組合員タルコトヲ得ザル者ニシテ設備ヲ利用シ得ルモノノ種類別數

（注意事項）

一、申請書ニハ設立者ノ氏名住所、職業、出資スベキ口數ヲ記載シ且捺印スルコト

二、定款ニハ設立者署名捺印スルノ外定款ヲ以テ定メタル理事、監事ニ付テハ其ノ住所ヲ記載スルコト

三、定款ニハ參錢收入印紙ヲ貼付シ設立者（代表者ノミニテ可）捺印スルコト

四、申請書數葉ニ亘ルトキ每葉綴目ニ契印スルコト

產業組合法施行規則第十九條ノ二第一項各號ノ一ニ該當スル組合ノ設立許可申請

製糸ヲ爲シ又ハ製糸工場ヲ有スル組合ノ設立許可申請
今般何賣任何々組合設立致度候ニ付御許可相成度別冊定款其他關係書類相添
ヘ此段及申請候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地・
出資何口　職業　氏　名㊞
郡(市)村(町)字番地
出資何口　職業　氏　名㊞
(以下設立者全員)

石川縣知事　殿

(提出期限)　定款作成後速ニ
(添附書類)
一、定款(三通)
二、製絲業法施行規則第四條第一項第一號第二號及第五號ニ掲グル事項
三、組合員數及其ノ出資口數

四、區域内ニ於ケル養蠶戸數及上繭產額竝組合員中養蠶者數及其ノ上繭產額
五、繰絲機百五十釜未滿ノ設備ヲ爲サントスルモノニ在リテハ百五十釜以上
ト爲シ得ザル特別ノ事由
(添附書類二號—五號ノ書類ハ二通トス)
◉醫療設備ヲ有スル組合ノ設立許可申請(區域ガ郡市ノ區域ヲ超ユル組合ノ設立許可申請)ノ場合ノ添附書類ハ定款三通ノ外產業組合法施行細則第五條第一項第二號(第三號)ニ記載セル書類二通ヲ添附シ本書式ニ準據シテ申請スルコト
(注意事項)
事由書ノ添附ヲ要スルハ定款中產業組合法施行細則第三條各號ニ該當スル事項ヲ規定セル場合ニ限ル

繼續認可申請書

繼續認可申請
產業組合法第六十二條ノ二ノ規定ニ依リ何賣任何々組合ヲ繼續致度候ニ付御

認可相成度別冊書類相添へ此段及申請候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何責任何々組合
組合長理事　氏　　名㊞

石川縣知事　殿

(提出期限)　存立時期滿了ノ日ヨリ一箇年内ニ

(添附書類)

一、事　由　書

二、組合員ノ分三ノ二以上ノ同意ヲ證スル書面

三、最近ノ財産目錄、貸借對照表、事業報告書

(注意事項)

事由書中繼續セントスル組合ノ存續期間ヲ明確ニ記載シ置クコト

産業組合法施行規則第一條ノ十一ノ規定ニ

依ル認可申請書

産業組合法施行規則第一條ノ十一ノ規定ニ依ル認可申請

産業組合法施行規則第一條ノ十一ノ規定ニ依リ何責任何々組合ニ加入致度候ニ付御認可相成度別冊書類相添へ此段及申請候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何責任何々組合
組合長理事　氏　　名㊞

石川縣知事　殿

(添附書類)

一、理　由　書

二、最近ノ財産目錄、貸借對照表、事業報告書

産業組合定款變更認可申請

産業組合定款變更認可申請

昭和　年　月　日通常(臨時)總會ニ於テ定款變更ノ決議致候ニ付御認可相成度總會決議錄相添ヘ此段及申請候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地

何責任何組合

理事　氏　名㊞

石川縣知事　殿

(提出期限)　決議後速ニ。但シ組織變更、組合員脫退又ハ保證金額ノ減少(組合原簿記載事項)ノ屆出ヲ事業年度ノ終ヨリ二週間ニ爲スコトヲ規定スル場合、無限責任保證責任組合ノ組合員脫退後ノ責任問題延長及短縮ハ總組合員ノ同意後速ニ

(添附書類)

◉登記事項以外ノ變更ノ場合

一、理由書　(一通)

二、決議錄謄本　(一通)

三、定款變更條文ノ抄本　(二通)

◉目的、名稱、區域、出資一口金額(減少ヲ除ク)

出資拂込方法、存立時期、解散事由ノ變更ノ場合

一、理由書　(一通)

二、決議錄謄本　(二通)

三、定款變更條文ノ抄本　(二通)

但シ目的變更ニ因ル認可申請ノ場合ニ限リ定款ノ謄本ヲ添附スルコト

◉出資一口ノ金額減少及組合員ノ保證金額ノ減少ノ場合

一、理由書　(一通)

二、決議錄謄本　(二通)

三、定款變更條文ノ抄本　(二通)

四、財産目錄、貸借對照表　(一通)

◉事務所變更ノ場合

一、理由書　(一通)

二、決議錄謄本　（二通）
三、定款變更條文ノ抄本　（二通）

◎組織變更ノ場合

一、理由書　（一通）
二、總組合員同意書　（二通）
三、定款變更條文ノ抄本　（二通）
四、財產目錄、貸借對照表（責任減少ノ場合）（一通）

◎產業組合法第五十八條第二項ニ依リ責任期間延長ノ場合

一、理由書　（一通）
二、總組合員同意書　（一通）
三、定款變更條文ノ抄本　（二通）

◎產業組合法第五十八條第三項ニ依リ責任期間短縮ノ場合

一、理由書　（一通）
二、總組合員同意書　（一通）
三、定款變更條文ノ抄本　（二通）

四、財產目錄、貸借對照表　（一通）

◎產業組合法第一條第八項ニ依リ指定シタル設備ヲ利用セシメムトスル場合

一、理由書　（一通）
二、決議錄謄本　（二通）
三、定款ノ謄本　（三通）
四、左ノ事項ヲ記載シタル書類　（二通）

1. 設備ノ規模及其ノ能力
2. 組合員ノ設備利用ノ程度
3. 設備ニ關スル事業施行ノ方法
4. 設備費
5. 一事業年度ノ收支概算
6. 組合員數、組合員戶數、區域內戶數及組合員タルコトヲ得サル者ニシテ設備ヲ利用シ得ルモノノ種類別數

五、財產目錄、貸借對照表　（一通）

産業組合解散認可申請書

産業組合解散認可申請

昭和何年何月何日通常(臨時)總會ニ於テ解散ノ決議致候ニ付御認可相成度別冊書類相添へ此段及申請候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何責任何々組合
組合長理事　氏　　名㊞

石川縣知事　殿

(提出期限)　決議後速ニ

(添附書類)

一、理由書　(一通)
二、總會決議錄謄本　(二通)
三、最近ノ財産目錄、貸借對照表
四、政府融通ノ資金別末償還額及解散後ニ於ケル償還方法ヲ記載セル書類

◉一、添附書類四ノ必要ノ場合ハ政府ノ融通スル借入金ヲ有スル場合ナリ
二、定款ニ定メタル事由ノ發生又ハ組合員七人未滿ニ減少シタルニ因ル解散ノ場合ハ届出ノミニテ可ナリ

産業組合登記事項届出ニ關スル注意

一、届出期日ハ各書式注意ニ記載シアルモ何レモ事實發生後二週間內ニ縣廳ニ到達スル樣届出ザレハ産業組合法第九十三條ノ二ノ制裁アルニ依リ充分注意ノコト

二、届出書類ノ文字ハ明瞭ニ記載シ誤謬脫漏等ナキ樣注意スルコト

三、届書ノ年月日及番號等ヲ記載スル數字ハ壹貳參拾ノ文字ヲ用フルコト

四、文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ズ若シ訂正挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ尙ホ讀得ベキ爲字體ヲ存スルコト

五、届書ハ墨書シ同一ノ書類ヲ數通作製スルトキハ成ルベク炭酸紙ニテ複寫ス

ルコト

六、屆書數通ニ亘ルトキハ毎葉綴目ニ契印スルコト

七、不備ノ爲返戻セラレタルトキハ成ルベク即日補正ノ上再出ノコト若シ書替ヘタルトキハ返戻ノ書類ヲ上ニ堅ク綴ルコト

八、用紙ハ組合原簿ニ在リテハ强靱ナル美濃紙ヲ用ヒ其ノ他ハ半紙トス

九、登記屆書ニ限リ直接縣廳ヘ提出シ市町村ヲ經由セザルコト

一〇、二件以上ノ書類ヲ決シテ一綴ニセザルコト

出資第一回拂込完了屆

◉出資第一回拂込完了後左ノ書類提出ノコト

出資第一回拂込完了屆（二通）

本組合昭和　年　月　日出資第一回ノ拂込ヲ完了候ニ付原簿相添ヘ及御屆候也

年　月　日

郡（市）村（町）字番地

何　責　任　何　組　合

理　事　氏　名㊞

石川縣知事　殿

（提出期限）第一回出資拂込完了後二週間內

（添附書類）組合原簿　二冊

（附）監事ノ證明書添附ヲ要ス

證　明　書

別冊組合原簿ニ記載シタル事項相違無之候也

年　月　日

監　事　氏　名㊞

（注意事項）

一、原簿ノ用紙ハ强靱ナル美濃紙ヲ用フルコト

二、原簿一葉毎ニ丁數ヲ附シ綴目ニ契印ヲ爲スコト

三、數字ハ「壹、貳、參、拾」ヲ用フルコト

四、原簿ニハ表紙(美濃白紙ヲ附シ)「何々組合原簿及組合代表者職氏名印」ヲ記載スルコト書式左ノ如シ

有限責任組合ニ在リテハ書式一號
無限責任組合ニ在リテハ書式二號
保證責任組合ニ在リテハ書式三號

書式一號

表紙

有限責任何々組合ノ名稱組合原簿

理事　何　某㊞

名稱	出資ノ總口數	拂込ミタルノ出資總額	變更	變更	變更	變更
有限責任組合	何口	金何圓				

丁

書式二號

表紙

無限責任何々組合ノ組合原簿

理事　何　某㊞

（甲部）

名稱	出資ノ總口數	變更	變更
無限責任組合	何口		
	拂込ミタル出資ノ總額	變更	變更
	金何圓		

丁

（乙部）

組合員ノ氏名住所	變更	組合員ノ氏名住所	變更
組合員ノ氏名住所	變更	組合員ノ氏名住所	變更

丁

書式三號

表紙

保證責任何々組合ノ組合原簿

理事　何　某㊞

(甲部)

名稱	出資ノ總口數	拂込ミタル出資ノ總額			
保證責任	何	金	變更	變更	
組合	口	何圓	變更	變更	丁

(乙部)

組員ノ氏名住所	保證金額				
組合員ノ氏名住所	保證金額	變更	變更	變更	丁

産業組合出資一口ノ金額減少屆

◎出資一口ノ金額減少ニ關シ法定催告期間ヲ了シタル日ヨリ二週間內ニ左ノ書類提出ノコト

産業組合出資一口ノ金額減少屆（二通）

昭和　年　月　日本組合出資一口ノ金額金　圓ヲ金　圓ニ變更致候ニ付此段及御屆候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何　責任何組合
理　事　氏　名㊞

石川縣知事　殿

（提出期限）決議ノ日ヨリ二週間內ニ組合債權者ニ對シ二箇月ヲ下ラザル一定期間ニ異議ノ有無ヲ催告シ其ノ手續ヲ了シタル日ヨリ二週間內ニ

（添附書類）産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ踐ミタル

コトヲ證スル書面(二通)

法第四十一條第二項ノ手續ヲ踐ミタルコトヲ證スル書面

本組合ハ昭和　年　月　日付ヲ以テ出資一口ノ金額ヲ金何拾圓ニ減少シタルニ付異議アラバ昭和　年　月　日迄ニ之ヲ述ブベキ旨ヲ本組合ノ掲示場ニ(定款ニ規定シタル方法ヲ記入ノコト)掲載シテ公告シ及知レタル左ノ債權者ニ各別ニ催告シタルニ何々銀行ハ異議ヲ述ベタルニ依リ直ニ債務ヲ辨濟(擔保トシテ何々ヲ提供)シタルコト相違無之ニ付證明候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地

何責任何組合

監事　氏　　名㊞

記

郡(市)村(町)字番地　何　某　殿

法第四十條第二項ノ手續ヲ踐ミタルコトヲ證スル書面

本組合ハ昭和　年　月　日付ヲ以テ出資一口ノ金額金何拾圓ニ減少シタルニ依リ異議アラハ昭和年　月　日迄ニ之ヲ述ブベキ旨ヲ本組合ノ掲示場ニ(定款ニ規定シタル方法ヲ記入ノコト)掲載シテ公告シ及知レタル左ノ債權者ニ各別ニ催告シタルニ異議ヲ述ベタル者無之ニ付證明候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地

何責任何組合

監事　氏　　名㊞

記

郡(市)村(町)字番地　何　某　殿

◉保證金額減少ニ關シ手續ヲ了シタル場合ノ屆書ハ原簿記載事項變更屆ノ欄ニ掲載セリ

◎事務所移轉後二週間內ニ左ノ書類提出ノコト

産業組合事務所變更届（二通）

昭和　年　月　日事務所ヲ左記ノ箇所ニ移轉候ニ付及御届候也

郡(市)村(町)字番地
何　責　任　何　組　合
理　事　氏　　名㊞

石川縣知事　殿

記

舊事務所　郡(市)村(町)字番地
新事務所　郡(市)村(町)字番地

（提出期限）事務所移轉後二週間內
（添附書類）總會決議錄一通
（注意事項）

一、定款變更認可ヲ受ケタル後速ニ新設又ハ移轉若ハ廢止シ其ノ後二週間內ニ届出ヲ要ス

二、行政區劃又ハ土地ノ名稱ニ變更アリタルトキハ届出ヲ要セズ但シ地番ノ變更ハ定款變更ノ認可ヲ要セズシテ其ノ届出ヲ爲スコト

三、事務所ノ新設廢止ノ場合ニ於ケル届書ハ移轉届ニ準スルコト

四、主タル事務所ヲ從來ノ登記所ノ管轄外ニ移轉シタルトキハ左ノ書類ヲ要ス

1. 理事ノ認證アル定款（一通）
2. 組合原簿（一冊）
（附）監事ノ證明書

産業組合組織變更届

◎組織變更ノ手續ヲ了シタル日ヨリ二週間內ニ左ノ書類提出ノコト

産業組合組織變更届

昭和　年　月　日本組合組織何責任ヲ何責任ニ變更致候ニ付原簿相添
ヘ及御屆候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何責任何組合
理事　氏　名㊞

石川縣知事　殿

右相違無之候也

年　月　日

監事　氏　名㊞

(提出期限)　組織變更ノ手續ヲ了シタル日ヨリ二週間內

(添附書類)　一、組合原簿(二冊)

(附)監事ノ證明書

二、責任ヲ減少シタル場合ハ左ノ書類ヲ要ス

産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ踐ミタルコトヲ證スル書面(二通)

(本書式ハ出資一口ノ金額減少屆ニ示シタルモノト同シ)

(注意事項)　一、組合原簿ニハ變更ノ手續ヲ了シタル當時ノ事項ヲ記載スルコト

二、組織變更ニ因リ責任ヲ減少スルトキハ總組合員ノ同意アリタル後二週間內ニ債權者ニ對スル手續ヲ爲シ其ノ手續ヲ了シタル後屆出ヅルモノトス

産業組合理事(又ハ監事)變更屆

◎選任(新任)再選(重任)辭任退任解任死亡資格喪失

産業組合理事(又ハ監事)變更屆　(二通)

本組合理事(又ハ監事)左記ノ通變更致候ニ付及御屆候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何責任何組合

石川縣知事　殿

理事　氏　名㊞

記

昭和年　月　日重任　理事(又ハ監事)　何　某
同　年　月　日就任　住所　理事(又ハ監事)　何　某
同　年　月　日死亡　理事(又ハ監事)　何　某
同　年　月　日解任　理事(又ハ監事)　何　某
同　年　月　日辭任　理事(又ハ監事)　何　某
同　年　月　日退任　理事(又ハ監事)　何　某

右相違無之候也

年　月　日　監事　氏　名㊞

(提出期限)　一、選任、再選ハ就任ノ日ヨリ二週間內
二、解任ハ決議ノ日ヨリ二週間內
三、辭任、退任、死亡、資格喪失ハ事由發生ノ日ヨリ二週間內

(添附書類)　一、選任、再選、解任ノ場合ハ總會決議錄謄本　(二通)

二、其ノ他ハ監事ノ證明書　(二通)

(注意事項)　一、任期滿了(退任)ノ場合ニ於テ定款ニ「理事監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フ」トノ規定アルトキハ後任者ノ就職シタル日ヨリ二週間內ニ屆出ツルコト
二、資格喪失ノ中ニハ產業組合法第五十一條ニ依リ組合ヲ脫退シタル場合ヲ含ムモノナリ
三、新タニ就任シタル者ハ住所ヲ記載スルコト
四、監事ノ證明ハ屆書ノ餘白ニ記載シテ可ナリ

產業組合理事(又ハ監事)住所(又ハ氏名)變更屆

產業組合理事(又ハ監事)住所(又ハ氏名)變更屆(二通)

本組合理事(又ハ監事)何某ハ昭和　年　月　日其ノ住所(又ハ氏名)ヲ左記ノ通變更候ニ付及御屆候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何責任何組合
理事　氏　　名㊞

石川縣知事　殿

記

郡(市)村(町)字番地(又ハ氏名)　監事　氏　　名㊞

右相違無之候也

(提出期限)　事由發生ノ日ヨリ二週間內
(添附書類)　一、監事ノ證明書　(二通)
(注意事項)　一、監事ノ證明ハ屆書ノ餘白ニ記載シテ可ナリ

産業組合原簿記載事項變更屆

◎1. 出資口數及拂込ミタル出資額

産業組合原簿記載事項變更屆(二通)

本組合昭和　年　月　日ヨリ昭和年月日ニ至ル一事業年度內ニ於テ出資總口數及拂込ミタル出資總額左記ノ通變更致候ニ付及御屆候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何責任何組合
理事　氏　　名㊞

石川縣知事　殿

記

一出資總口數　何口
一拂込ミタル出資總額　金　圓

右相違無之候也

年　月　日

監事　氏　　名㊞

(提出期限)　事業年度ノ終ヨリ二週間內
(添附書類)　一、監事ノ證明書　(二通)
(注意事項)　一、有限、無限、保證責任組合共變更アリタル場合ニハ總テ屆出

ツルコト

二、「出資口數」ノミ變更シタルトキハ其ノ事項ノミ若シ「拂込ミタル出資總額」ノミ變更シタルトキハ其ノ事項ノミ屆出ツルコト

三、監事ノ證明ハ屆書ノ餘白ニ記載シテ可ナリ

◎2. 組合員加入ノ場合

産業組合原簿記載事項變更屆（無限責任保證責任）（二通）

本組合昭和　年　月　日ヨリ昭和　年　月　日ニ至ル一事業年度内ニ於テ何某外何名（總組合員ノ同意ヲ以テ）加入致候候ニ付原簿相添へ及御屆候也

年　月　日

郡（市）村（町）字番地

何　責　任　何　組　合

理　事　氏　　名㊞

石川縣知事　　殿

右相違無之候也

年　月　日

監　事　氏　　名㊞

（提出期限）加入ノ日時又ハ事業年度ノ終ヨリ二週間内

（添附書類）一、總組合員ノ同意アリタル事ヲ證スル書面（二通）但シ保證責任組合ハ同意ヲ要セズ

◎總組合員ノ同意ヲ證スル書面

左記ノ者本組合加入申込ニ對シ總組合員ノ同意アリタルコト相違無之候ニ付證明候也

年　月　日

郡（市）村（町）字番地

何　責　任　何　組　合

監　事　氏　　名㊞

記

住所	氏名	加入申込年月日	催告期間	事由
何郡(市)何村(町)字番地	何某	昭和何年何月何日	自昭和何年何月何日至昭和何年何月何日	異議ヲ述ヘタル者ナシ

二、組合原簿（二通）

（附）監事ノ證明書

（注意事項）一、組合原簿ハ追加ノ分ノミトス

◉3. 組合員脫退ノ場合

産業組合原簿記載事項變更屆（無限責任）（保證責責）（二通）

本組合昭和　年　月　日ヨリ昭和　年　月　日ニ至ル一事業年度內ニ於テ組合員左ノ通脫退（又ハ保證金額變更）致候ニ付及御屆候也

年　月　日

郡（市）村（町）字番地

何　責　任　何　組　合

石川縣知事　殿

理事　氏　名㊞

記

昭和　年　月　日脫退（原簿第何丁）何　某

昭和　年　月　日死亡（原簿第何丁）何　某

昭和　年　月　日除名（原簿第何丁）何　某

昭和　年　月　日組合區域外ニ轉住（原簿第何丁）何　某

昭和　年　月　日持分全部ヲ讓渡（原簿第何丁）何　某

昭和　年　月　日保證金額（變更シタル金額）（原簿第何丁）何　某

右相違無之候也

年　月　日

監事　氏　名㊞

（提出期限）一、脫退ノ場合ハ事由發生ノ日ヨリ二週間內但シ定款ニ規定シタル場合ハ事業年度ノ終ヨリ二週間內

二、除名ノ場合ハ總會ノ決議ヨリ二週間內

（添附書類）　一、脫退ノ場合ハ監事ノ證明書（二通）
　　二、除名ノ場合ハ總會決議錄謄本（二通）
（注意事項）　一、事業年度ノ終ヨリ二週間內ニ屆出ムトスル場合ハ必ス總組合員ノ同意ヲ經テ定款ニ規定シ置クコトヲ要ス

◉4. 氏名住所ノ變更

産業組合原簿記載事項變更屆　（無限責任（保證責任）（二通）

本組合昭和　年　月　日ヨリ昭和　年　月　日ニ至ル一事業年度內ニ於テ組合員其住所（又ハ氏名）ヲ左記ノ通變更候ニ付及御屆候也

年　月　日

郡（市）村（町）字番地
何責任何組合
理事　氏　名㊞

石川縣知事　殿

記

昭和　年　月　日　郡（市）村（町）字番地　（原簿第何丁）　何　某
昭和　年　月　日　何某（變更シタル氏名）（原簿第何丁）　何　某
右相違無之候也

年　月　日

監事　氏　名㊞

（提出期限）　一、事業年度ノ終ヨリ二週間內
（添附書類）　一、監事ノ證明書
（注意事項）　一、監事ノ證明ハ屆書ノ餘白ニ記載シテ可ナリ

◉5. 保證金額ノ變更（出資一口ニ付保證金額變更）

産業組合原簿記載事項變更屆　（保證責任）（二通）

本組合保證金額別冊ノ通變更致候ニ付此段及御屆候也

年　月　日

郡（市）村（町）字番地
何責任何組合

石川縣知事　殿

理事　氏　名㊞

保證金額調書

年月日	金額	原簿丁數	氏名

右相違無之候也

年　月　日

監事　氏　名㊞

（提出期限）變更ノ手續ヲ了シタル日ヨリ二週間內但シ定款ニ規定シタル場合ハ事業年度ノ終ヨリ二週間內

（添附書類）一、保證金額調書（二通）

保證金額ヲ減少シタルトキハ更ニ左ノ書類ヲ要ス

◉產業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ踐ミタルコトヲ證スル書面（二通）

（注意事項）一、保證金額調書ニハ監事ノ證明ヲ爲スコト

二、保證金額減少屆ニシテ事業年度ノ終ヨリ二週間內ニ屆出ムトスル場合ハ必ス總組合員ノ同意ヲ經テ定款ニ規定シ置クコトヲ要ス

登記事項更正屆

產業組合登記事項更正屆（二通）

登記簿中（原簿第丁中）「何々」ト登記（記載）シアルハ「何々」ノ錯誤ニ付及御屆候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何 責 任 何 組 合
理 事 氏 名㊞
殿
石川縣知事

(提出期限) 届出事項ニ錯誤ヲ發見シタルトキハ直ニ

産業組合解散届

◉解散届「存立時期滿了、組合員七人未滿ニ減少、定款ニ定メタル事由ノ發生」

産業組合解散届 (二通)
昭和 年 月 日本組合存立時期滿了解散ニ付及御届候也
年 月 日
郡(市)村(町)字番地
何 責 任 何 組 合
理 事 氏 名㊞
石川縣知事 殿
右相違無之候也
年 月 日
監 事 氏 名㊞

(提出期限) 事由發生ノ日ヨリ二週間内
(添附書類) 一、監事ノ證明書 (二通)
(注意事項) 一、認可又ハ處分ニ依ル場合ハ認可又ハ處分ト同時ニ地方長官ニ於テ登記囑託ヲ爲スモノトス
二、合併ニ因ル解散届ハ省略

清算人變更届

届出事項	書式	提出期間
選任	理事監事變更届ニ準ズ	就任ノ日ヨリ二週間内
解任	同	決議ノ日ヨリ二週間内

死亡 辭任 資格ノ喪失 氏名、住所ノ變更	同	事由發生ノ日ヨリ二週間內
命令ニ依ル選任解任	屆出ヲ要セズ	

(添附書類) 一、總會決議錄謄本 (二通)
一、監事ノ證明書 (二通)

(注意事項) 一、定款ニ「組合解散シタルトキハ理事清算人トナル」トノ規定アルトキハ解散ト同時ニ理事ハ清算人トナルモノナルヲ以テ別ニ選擧スルコトヲ要セス從ツテ屆出モ要セサルモノトス
二、監事ノ證明ハ屆書ノ餘白ニ記載シテ可ナリ
三、資格喪失ノ中ニハ產業組合法第五十一條ニ依リ組合ヲ脫退シタルトキ及產業組合法第百五條準用非訟手續法第百三十八條ニ依リ清算人タル資格ヲ失ヒタル場合ヲ含ム
四、地方長官ハ選任又ハ解任ヲ命シタルトキハ同時ニ登記囑託ヲ爲スモノトス

清算結了屆

產業組合清算結了屆 (二通)

昭和　年　月　日清算事務結了シ總會ノ承認ヲ經候條決算報告書及總會決議錄謄本相添へ此段及御屆候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何責任何組合
理事　氏　名㊞

石川縣知事　殿

(提出期限) 總會ノ承認ヲ經タル後二週間內

(添附書類) 一、總會決議錄謄本 (二通)
二、決算報告書 (一通)

(注意事項) 一、決算結了シタルトキハ清算人ハ直ニ決算報告書ヲ作リ之ヲ總會ニ提出スルモノトス

産業組合諸報告

總會(又ハ總代會)狀況報告

總會狀況報告

昭和　年　月　日通常(臨時)總會開會致候間産業組合法施行細則第十四條ニ依リ別紙總會決議錄謄本相添ヘ此段及報告候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何　責　任　何　組　合
理　事　氏　　名㊞

石川縣知　事

(提出期限)　總會終了後遲滯ナク知事ニ報告スヘシ

(添附書類)　一、總會決議錄謄本　(一通)

(注意事項)　一、總代會開會ノ場合モ之ニ準スルコト

定款所定時期ニ通常總會(通常總代會)ヲ開會シ得サル報告

通常總會開會不能報告

本組合定款第何條ニ依リ何月中通常總會開會スベキ處何々ノ事由ニ依リ開會シ得ザルニ付産業組合法施行細則第十五條ニ依リ此段及報告候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何　責　任　何　組　合
理　事　氏　　名㊞

石川縣知事　殿

(提出期限)　少クトモ定款所定時期十五日前

(注意事項)　一、開會シ得サル事由具體的詳細ニ記載スルコト

産業組合訴訟發生報告

産業組合訴訟發生報告

今般左記ノ通本組合ニ關シ訴訟發生致候間産業組合法施行細則第十六條ニ依リ此段及報告候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何　責　任　何　組　合
理　事　氏　名㊞

石川縣知事　殿

記

一、訴訟ノ發生　年　月　日
二、訴訟管轄裁判所
三、訴訟ノ種類
四、訴訟ノ手續
五、當事者ノ氏名、原告ノ住所氏名、被告ノ住所氏名
六、原告ノ申立事項ノ概要
七、訴訟提起ニ至リシ事件ノ經過

(注意事項)　一、訴訟ノ種類ニハ民事訴訟、刑事訴訟ノ別ヲ明ニスルコト
二、訴訟ノ手續ニハ口頭辯論、督促手續等ノ別ヲ記載スルコト
三、督促手續ニハ支拂命令、假差押、假處分ヲ含ムコト勿論ナリトス

産業組合訴訟和解(裁判確定)報告

産業組合訴訟和解(裁判確定)報告

昭和　年　月　日附ヲ以テ及報告置候訴訟事件左記ノ通和解(裁判確定)致候間産業組合法施行細則第十六條ニ依リ此段及報告候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何　責　任　何　組　合
理　事　氏　名㊞

石川縣知事　殿

記

一、訴訟發生　年　月　日
二、訴訟ノ和解(裁判確定)　年　月　日
三、當事者ノ氏名、原告ノ住所氏名、被告ノ住所氏名
四、和解(判決)ヲ爲シタル管轄裁判所
五、和解(判決)ニ關スル謄本
六、訴訟費用負擔ノ概要

出資第一回拂込遲延報告

◉組合ハ設立ノ許可ヲ受ケタル後二箇月ヲ經ルモ尙出資第一回ノ拂込ヲ了セザルトキハ左ノ書類提出ノコト

出資第一回拂込遲延報告
本組合出資第一回ノ拂込ハ左記(別紙)事由ニ依リ遲延致候間産業組合法施行細則第十七條ニ依リ此段及報告候也
年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何　責任何組合
理　事　氏　名㊞

石川縣知事　殿

(提出期限)　設立許可ヨリ二箇月後遲滯ナク知事ニ報告スルコト
(添附書類)　事由書　(一通)
(注意事項)　一、設立許可ヲ受ケタル後二箇月ヲ經ルモ出資第一回ノ拂込ミヲ完了セサルトキ
二、遲延ノ事由ハ具體的ニ記載スルコト

清算遲延報告

清算遲延報告
本組合ノ清算左記(別紙)事由ニ依リ遲延致候間産業組合法施行細則第十八條

ニ依リ此段及報告候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何　責　任　何　組　合
理　事　氏　　名㊞

石川縣知事　殿

(提出期限)　一、解散後一箇年及其ノ後三箇月毎ニ速ニ知事ニ報告スヘシ
(添附書類)　一、事由書　(一通)
(注意事項)　一、解散後一箇年ニ至ルモ尚ホ清算結了セサルトキ及其ノ居出後三箇月毎ニ報告ノコト
二、遅延事由ハ具體的ニ記載ノコト

産業組合役(職)員異動報告

産業組合長(專務理事又ハ事務員)異動報告

本組合組合長左記ノ通異動致候間産業組合法施行細則第十九條ニ依リ此段及報告候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何　責　任　何　々　組　合
理　事　氏　　名㊞

石川縣知事　殿

記

異動年月日	異動事由	履歴概要	職名氏名	生年月日
年　月　日	解任、辭任就任等ノ別		組合長專務理事書記 氏名	生年月日

(提出期限)　一、就任後速ニ知事ニ報告スルコト
(注意事項)　一、組合長、專務理事、事務員ノ氏名、年齢、職業、履歷ノ概要ヲ報告スルコト、更迭シタルトキモ同樣
二、辭任、解任ノ場合ハ履歷、生年月日ノ記載ハ不要

産業組合事務引繼報告

産業組合事務引繼報告

本組合別紙明細書ノ通引繼候間産業組合法施行細則第二十條ニ依リ此段及報告候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何責任何組合
理事　氏　名㊞

石川縣知事　殿

(注意事項)　一、引繼終了後十日以内ニ明細書ノ謄本ヲ報告スルコト

試算表報告

産業組合試算表報告

産業組合法施行細則第二十一條ニ依リ昭和　年　月末現在合計殘高試算表別紙ノ通此段及報告候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何責任何組合
理事　氏　名㊞

石川縣知事　殿

別紙試算表記載事項相違無之コトヲ證明ス

監事　氏　名㊞

(提出期限)　毎月末ノ試算表ヲ翌月十日迄ニ報告スルコト

自治監査顛末報告

今般本組合自治監査施行致候間別紙監査調書相添へ此段及報告候也

年　月　日

郡(市)村(町)字番地
何責任何組合

監事　何　某㊞

石川縣知事　殿

監査調書

一、組合監事全員氏名

内監査ニ出席セル監事ノ氏名

二、監査ニ立會シタル理事氏名

三、監査施行ノ月日及時間

（監査施行實時間ヲ知リ得ル樣午前何時乃至午後何時ト記入スルコト）

四、監査施行狀況

（監査施行要目ニ準シ監査シタル帳簿、書類名等其ノ顚末ヲ記載スルコト）

五、監査ノ結果執リタル措置及意見

（事務處理及經營方法ノ良否改善整理ヲ要スヘキ事項竝將來ニ對スル）意見等

可成詳細記載ノコト

備考　監査調書ニハ最近ニ於ケル試算表一部添附スルコト

（注意事項）

一、年四回定期監査終了後二週間以内ニ報告スルコト

二、監査實施セル監事ハ捺印ヲ要ス

諸規程例

諸規程例

事業執行細則

第一章　總　則

第一條　本組合ノ事業ハ法令又ハ定款ノ規定及總會並ニ理事會ノ決議ニ從ヒ組合長之ヲ執行シ組合長事故アルトキハ專務理事之ニ代リ追而組合長ノ承認ヲ受ケルモノトス

第二章　理　事

第二條　組合長ハ毎月一回理事會ヲ招集シ會議ノ議長トナリ組合長事故アルトキハ專務理事之ニ當ル尙緊急ノ事項アルトキハ臨時ニ之ヲ開キ又ハ會議ノ手續ニ依リ決議スルコトアルヘシ

第三條　理事會ハ理事三分ノ二以上出席スルニ非サレハ之ヲ開クコトヲ得ス

第四條　理事會ニ附議スヘキ事項左ノ如シ但シ事ノ急施ヲ要シ理事會ノ決議ニ附スルノ暇ナシト認ムルトキハ組合長專務理事協議決定スルコトヲ得此ノ場合理事會ノ事後承認ヲ經ヘキモノトス

一　總會ノ招集及議案
二　借入金
三　貸付金及貯金ノ利率並ニ延納利息
四　不動產ノ取得又ハ處分訴訟行爲
五　餘裕金ノ運用方法
六　細則其ノ他規定ノ制定及變更
七　販賣品ノ販賣方法、買入方法、品等査定ノ標準及歩合金
八　購買品ノ買入先、數量及時期
九　利用料及利用部ノ營繕等
十　建物什器ノ修繕
十一　事務員、技術員ノ給料等
十二　其ノ他事業經營上ニ關スル事項並ニ組合長ノ必要ト認ムル事項

第五條　理事會ハ普通會議法ヲ用ヒ決議ノ要旨ヲ會議錄ニ記載シ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ署名スルモノトス

會議ヲ以テ議決シタルトキハ各自ノ意見書ヲ會議錄ニ編綴シ置クモノトス

第六條　理事會ノ議事ハ出席員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル但シ議長ハ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハス

第七條　組合長又ハ專務理事ハ毎月三回殘高試算表ヲ作リ其ノ正鵠ヲ期スルコト

第八條　組合長又ハ專務理事更迭アリタルトキハ別記樣式ノ引繼書作成ノ上署名捺印スヘシ

第三章　監事

第九條　監事ハ別ニ定ムル監査規定ニ依リ組合事務所ニ於テ監査ヲ爲スヘシ

第十條　監事ハ定例理事會ニ出席シ意見ヲ述フルコトヲ得

第四章　信用評定委員

第十一條　信用評定委員ハ別ニ定ムル組合員信用程度評定規程ニ依リ組合員ノ信用程度ヲ定ムルモノトス

第十二條　信用評定委員ハ常ニ組合員ノ信用狀態ヲ監察シ其ノ異動ヲ發見シタルトキハ直ニ組合長ニ申告スルモノトス

第五章　業務

第一節　信用

其ノ一　貯金

第十三條　本組合ニ於テ取扱フ貯金左ノ如シ

定期貯金、當座貯金、據置貯金、定額貯金、特別當座貯金ノ五種トス

第十四條　貯金者ニハ當初通帳ヲ交付シ以後預入又ハ拂戻ハ總テ其ノ通帳ヲ以テ處理ス但シ定期貯金及定額貯金ニハ證書ヲ交付スルモノトス

第十五條　貯金ノ預入又ハ拂戻ハ總テ通帳又ハ證書持參人ヲ本人ト看做シ且申込ノ場合ニ於ケル印鑑ト照合ノ上之ヲ取扱フモノトス但シ特別當座貯金ニシテ印鑑ノ指定ナキモノハ此ノ限ニ非ラス

第十六條　貯金ノ利率ハ定款ニ定メタル範圍內ニ於テ理事會ノ決議ヲ以テ定メ之ヲ事務所ニ掲示ス其ノ變更アリタル場合亦同シ

第十七條　貯金利子計算ノ方法ハ兩端落シノ日步ニテ毎年十一月三十日計算シテ之ヲ元本ニ組入ルヽモノトス

第十八條　定期貯金ハ金高拾圓以上トシ其ノ期間ハ六ケ月、一ケ年ノ二種トシ滿期ニ至レハ元利一時ニ支拂フモノトス

第十九條　定期貯金ハ期限內ニ引出スコトヲ得ス但シ止ムヲ得サル事情ノ爲メ請求シタルトキハ當座貯金ノ利率ニ依リ利子ヲ計算シ拂戻シヲ爲スモノトス尙期限後ノ延日數ニ對シテモ亦同シ

第二十條　據置貯金ハ組合脫退天災地變ニ遭遇、冠婚葬祭、病氣療養其ノ他有利ノ生產的事業資金ニ非サレハ拂戻ヲ爲サヽルモノトス

第二十一條　定額貯金ハ契約高百圓以上トシ期間ハ三ケ年、五ケ年、十ケ年、十五ケ年ノ四種トシ掛金方法ハ別ニ定ムル所ノ表ニ依リ月掛、六ケ月掛、一ケ年掛ニヨリ積立テ滿期後一定ノ期間据置キ元利一時ニ支拂フモノトス但シ中途拂戻シヲ請求スルトキハ證書記載ノ規定ニ倣ヒ之ヲ支拂フモノトス

第二十二條　貯金ノ通帳及證書ノ盜難亡失其ノ他事故ニ依リ再交付ヲナサントスルトキハ保證人一名以上ノ連署セル差入書ヲ差出サシム

第二十三條　貯金ノ通帳及證書ノ再交付讓渡裏書並名義書換等ノ場合ハ一口ニ金五錢ノ手數料ヲ徵收ス

第二十四條　本規程ニ定メナキモノハ各種貯金規定ニ依ルモノトス

其ノ二　貸付金

第二十五條　組合員ニシテ資金ヲ借受ケントスル者ハ口頭又ハ左ノ事項ヲ記載シタル申込書ヲ差出サシム

一　借入方法
二　金額
三　資金ノ用途
四　償還ノ方法
五　擔保品ノ有無及種類
六　保證人ノ氏名

第二十六條　前條ノ申込ヲ受ケタルトキハ組合長ハ貸付額ヲ決定シテ證書用紙ヲ交付シ相當記入ノ上提出セシムルモノトス

第二十七條　借用證書ニ要スル印紙、抵當權設定登記ニ要スル登錄稅其ノ他必要ナル費用ハ債務者ノ負擔トス

第二十八條　債務者ハ期限前ト雖隨時其ノ一部又ハ全部ヲ償還スルコトヲ得

第二十九條　定期貸付金ニシテ期限ニ至ルモ償還セサルトキハ組合長ハ速ニ督促スヘシ

第三十條　前條ニ依リ督促ヲ爲スモ尙ホ返濟スルコト能ハサル者ニ對シテハ證書ノ書換ヘヲ爲サシムルコトヲ得但シ延期證書ヲ以テ證書ノ書換ヘニ代フルコトヲ得

第三十一條　貸付金ニ對スル保證人ハ信用充分ナル者ニ限リ擔保ハ確實ナル有價證券又ハ不動產ニ限ルモノトス

貸付後債務者ノ信用程度低下又ハ缺乏ノ事實ヲ知リタルトキハ組合長ハ速ニ擔保ヲ徵シ若クハ貸付金ノ一部又ハ全部ヲ償還セシムルモノトス

第三十二條　組合員ノ資金調節ノ爲メ二ケ年ヲ一期トシ組合ノ認メタル二人以上ノ保證人ヲ立テ若クハ根抵當ヲ徵シ當座貸越契約ヲ爲ス

本契約ニ依ル金錢取扱上當初組合員ヘ通帳並ニ小切手ヲ交付シ償還又ハ預入ニハ通帳ヲ以テシ借入ノトキハ小切手ヲ用フルモノトス

第三十三條　貸付金ノ利率ハ定款ニ定メタル範圍内ニ於テ理事會ノ決議ヲ經テ之ヲ定メ組合事務所ニ掲示スルモノトス其ノ變更アリタルトキ亦同シ

第三十四條　貸付金利息計算ノ方法ハ日歩ニ依リ貸付當日ヨリ償還ノ日迄利息ヲ附シ利息納付ハ定期ニアリテハ元金償還ト同時ニ貸越ニアリテハ毎年十二月一日迄ニ納付スヘキモノトス但シ現金ヲ以テ利息ヲ納付セサルモノハ之ヲ元本ニ組ミ入ルヽモノトス

第二節　販賣

第三十五條　組合員ハ販賣セムトスル物品ヲ委託シ又ハ買取ヲ求メムトスルトキハ口頭又ハ書面ヲ以テ組合ニ申出テ組合長ノ指定シタル場所ニテ現品ノ引渡シヲ爲スヘシ

第三十六條　販賣取扱物品ノ保管ニ付テハ組合長ハ適當ノ施設ヲ爲スコト其ノ保管ニ對シテハ定款第何條ニ依リ其ノ受入タル月ヨリ販賣履行ノ月ニ至ル期間保管料又ハ殺蟲驅除費ヲ徴收ス

保管料ハ理事之ヲ定メ殺蟲驅除費ハ實費トス

第三十七條　販賣ハ隨時契約又ハ競爭入札ヲ以テシ手付金ヲ收受ス代金ハ現品引換ヘ又ハ荷爲替ヲ以テ收受ス

第三十八條　組合ノ取扱フ物品ニ對シテハ生産者ノ氏名ヲ記入シタル證票ヲ付スルモノトス

第三十九條　委託販賣ニ於ケル組合ト組合員トノ代金精算ハ販賣履行ノ日ヨリ七日以内ニ於テ之ヲ爲ス

第三節　購買

第四十條　物品ノ購買代金ハ現金トス、但シ現金ヲ以テ購買シ得サルモノハ購買通帳ヲ持參シ組合事務所ニ於テ之ヲ需要スヘシ、組合長ハ之ニ記帳シ代金受領ノ際ハ其ノ證印ヲ爲スモノトス

前項ノ外組合長必要ト認ムルトキハ商人ヲ指定シ又ハ雇人ヲシテ現品ヲ送達セシメ其ノ需要ニ便スルコトアルヘシ

第四十一條　賣却代金ハ組合長ノ指定スル期日ニ必ス之ヲ支拂フヘシ但シ産業用品代ニ限リ延納ヲ承諾スルコトアルヘシ此ノ場合ニハ延納利息ヲ徴收ス

第四十二條　賣却代金延納利息ハ理事會ニ於テ之ヲ定メ代金支拂期日ノ翌日ヨリ之ヲ徵收スルモノトス

第四十三條　組合員カ購買品ノ送達ヲ受ケムトスル時ハ其ノ旨組合ニ申出テ相當ノ運搬費ヲ支拂フモノトス

第四節　利用

第四十四條　組合員組合ノ設備ヲ利用セムトスルトキハ口頭又ハ書面ヲ以テ組合ヘ申出テ組合長ノ許可ヲ受クヘシ

第四十五條　設備ノ利用ヲ終リタルトキハ其ノ旨組合ニ通知シ又ハ器具ヲ返還シ同時ニ利用料ヲ納付スヘシ

第六章　處務

其一　通則

第四十六條　本組合ノ事務ハ總テ組合長ノ決裁ヲ經テ處理スヘシ組合長事故アル場合ハ專務理事代決ス但シ其ノ重要ナル事務ニ付テハ組合長ノ後閲ヲ受クヘシ

第四十七條　本組合ノ執務時間左ノ如シ

四月一日ヨリ九月三十日マテ午前八時ヨリ午後五時マテ

十月一日ヨリ翌年三月三十一マテ午前九時ヨリ午後四時マテ

但シ日曜日大祭日ハ休日トス臨時休日ハ其ノ時々之ヲ掲示ス事務ノ都合ニヨリ休日其ノ他時限外ト雖モ執務スルコトアルヘシ

第四十八條　金庫及倉庫ノ鍵ハ組合長及專務理事之ヲ保管ス

第四十九條　金庫ニ格納スヘキモノ左ノ如シ

一　現金

二　有價證券

三　印鑑

四　借用證書及手形類

五　其ノ他重要物件

其二　整理

第五十條　本組合ハ整理ノタメ左ノ帳簿ヲ備フ

第一節　庶務部

定款　規定
組合員名簿　持分臺帳　組合原簿
元帳　總勘定元帳　日記帳
土地臺帳　建物臺帳　備品臺帳
事業報告書　役職員名簿　會議錄
登記ニ關スル書類　加入脫退書綴　印鑑簿
處務日誌　救濟弔慰關係書類　報告書綴
引繼書類　雜書類　人事書綴

第二節　信用部

貸付金臺帳　年賦貸付金臺帳　割引手形臺帳
貸付金名寄帳　當座貯金貸越臺帳　當座貯金臺帳
特別當座貯金臺帳　定期貯金臺帳　定額貯金臺帳

第三節　販賣部

販賣代金精算臺帳　販賣品賣渡臺帳　販賣品受拂臺帳
假渡金臺帳　物品加工臺帳　加工品受拂臺帳

第四節　購買部

購買品買入臺帳　購買品賣却臺帳　物品加工臺帳
購買品受拂臺帳　加工品受拂臺帳

第五節　利用部

利用臺帳　利用整理臺帳

第五十一條　現金並ニ證書類ハ事務ノ終リニ於テ關係帳簿ニ照合ノ上組合長若クハ事務理事ハ組合備付ノ金庫ヘ之ヲ格納ス

第五十二條　帳簿及書類ハ使用後大切ニ保存スルモノトス

其三　事務ノ引繼

第五十三條　組合長、專務理事更迭ノ際前任者ハ十日以內ニ引繼明細書ヲ作リ後任者ニ引繼ヲナスヘシ

第五十四條　前任者死亡其ノ他ノ事故ニ依リ引繼スルコト能ハサル場合ハ組合長又ハ專務理事ノ指定シタル立會人ト共ニ取調ヘ引繼明細書ヲ作製スヘシ

第七章　責任

第五十五條　係員ハ左ノ事項ニ就キ其ノ責ニ任ス

一　事務處理ノ遲延又ハ怠慢ノ爲メ生シタル過失

二　文書ノ取扱粗漏又ハ紛失ノ爲メ生シタル過失

三　金錢授受ノトキ不注意ノ爲メ不足ヲ生シタル過失
四　計算上粗漏又ハ不注意ノ爲メ勘定ヲ誤リタル過失
五　記帳ヲ誤リ組合ニ損失ヲ生シタル過失
六　文書ノ收受及發送ヲ怠リタル爲メ生シタル過失
七　一定期限アルモノニ對シ期限前注意ヲ怠リタル爲メ組合ニ損失ヲ生シタル過失

附　則

本細則ハ決議ノ日ヨリ之ヲ施行ス

議事細則

第一條　會議ノ時間ハ其ノ都度組合長之ヲ定ム

第二條　組合員ノ席次ハ出席順トス

第三條　選擧ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ但シ總會ノ決議ニ依リ他ノ方法ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第四條　議長ハ開會ヲ宣告シ議案ノ說明ヲ爲スモノトス但シ議案ノ朗讀又ハ說明ハ他ノ者ヲシテ之ニ代ラシメ又ハ省略スルコトヲ得

第五條　議長ハ議場ノ整理上必要ト認ムル場合ニ在リテハ機宜ノ處置ヲ爲スコトヲ得議題以外會議中起リタル事件ニ付テハ議長之ヲ決スヘシ

第六條　發言セムトスルモノハ自己ノ氏名ヲ唱ヘ議長ノ許可ヲ得テ發言スヘシ

議長開會ノ宣告ヲナサヽル前又ハ閉會、延會若クハ中止ヲ宣告シタル後ハ議事ニ付キ發言スルコトヲ得ス

第七條　會議ハ第一、第二、第三讀會ヲ經テ表決ス但シ議長ハ總會ニ諮リテ讀會ヲ省略スルコトヲ得

第八條　議案及建議ニ付必要ト認メタルトキハ委員ヲ設ケ調査セシムルコトヲ得委員ハ奇數トシ組合員ノ互選又ハ議長ノ指名ヲ以テ之ヲ定ム

第九條　動議ハ二名以上ノ贊成者ヲ得テ成立ス

第十條　修正ノ議題ハ原案ニ先タチ採決ス其ノ多數ナル場合ニアリテハ發議ノ順序ニ依ル

第十一條　議決ハ法律又ハ定款ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外議決權ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナル場合ニアリテハ議長ノ決スルトコロニ依ル

第十二條　採決ノ方法ハ起立、擧手又ハ無記名投票其ノ他議長ノ定ムルトコロニ依ル

第十三條　議長ハ採決ノ結果ヲ宣告スヘシ

第十四條　本則ニ規定ナキモノハ普通會議法ニ依ル

附則

本細則ハ次ノ總會ヨリ之ヲ施行ス

監査規定

第一條　本組合監事ハ法令及定款ノ定ムル所ニ從ヒ常ニ組合財産ノ狀況及理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査スルモノトス

第二條　前條ノ目的ヲ容易ニ達成スル爲メ監査會ヲ開催スルモノトス

第三條　監査會ハ定期監査會及臨時監査會ノ二種トス定期監査會ハ毎事業年度左記ノ通リ四回之ヲ開ク但シ組合業務其ノ他差支アルトキハ役員ノ合議ニ依リ開催日ヲ變更スルコトヲ得

二月、五月、八月、十一月

臨時監査會ハ監事カ必要ト認メタルトキ又ハ理事カ必要ト認メ臨時監査會ヲ請求シタルトキ之ヲ開ク

第四條　定期監査會ハ組合業務ニ差支アル場合ト雖モ一事業年度内少クトモ二回ハ必ス開會スルコトヲ要ス

第五條　定期監査會ニ於テハ概ネ左記事項ヲ監査スルモノトス

但シ毎回全部ノ監査ヲ爲スノ必要ナシト認ムルトキハ必要ト認メサル事項ニ限リ監査ヲ省略スルコトヲ得

一般監査事項

一　理事及事務員執務狀況ノ適否

二　定款諸規程及各種内規履行ノ當否

三　組合員關係事務並帳簿及書類ノ整否（組合原簿　組合員名簿　出資臺帳　持分臺帳等）

四　總代會役員會信用評定委員會ニ關スル書類ノ整否及決議執行ノ適否

五　登記關係事項屆出狀況ノ整否
六　主要簿ト補助簿トノ對照及其ノ整理狀況ノ適否
七　預ケ金通帳證書ト臺帳トノ對照及其ノ記帳ノ適否並利息算定確否
八　有價證券ト臺帳トノ對照及其ノ管理記帳ノ適否
九　所有物(土地建物什器利用設備)ノ管理及臺帳整理ノ適否並其ノ償却ノ當否
一〇　出資勘定整理ノ適否
一一　未決算勘定整理ノ適否
一二　現金ノ照合及出納管理ニ關スル適否
一三　借入金ニ關スル適否及臺帳整理ノ適否
一四　準備金及各種積立金管理方法ノ適否
一五　諸經費支出ノ適否各種消耗品消費ノ適否
一六　文書編綴及庶務各種帳簿整理ノ適否

信用部監査事項

一　貸付金用途利率及債務履行狀況ノ適否
二　貸付最高限度及信用程度表適用當否
三　貸付金臺帳ト證書トノ對照保證人擔保物件及臺帳整理狀況ノ適否
四　貯金臺帳整理ノ適否
五　貸付金利息貯金利息及貸付金遲延利息算定整理ノ確否

販賣部監査事項

一　販賣品受入及賣却ノ適否臺帳整理ノ適否
二　販賣品受拂狀況ノ適否
三　掛賣代金回收狀況ノ適否
四　掛賣金利息算定整理ノ確否

購買部監査事項

一　購買品買入及賣却ノ適否臺帳整理ノ適否及現品トノ對照
二　購買品受拂狀況ノ適否

三　購買品管理及現品調査ノ適否
四　購買品棚卸ノ適否
五　掛賣代金回收狀況ノ適否
六　掛賣金利息及同遲延利息算定整理ノ確否

利用部監査事項

一　利用設備及其ノ管理ノ適否
二　利用料及其ノ整理簿記帳ノ適否
三　利用設備臺帳整理ノ適否
四　利用料受入狀況ノ適否

第六條　監査會ヲ開會シタルトハキ監査ノ狀況ヲ第一號樣式ノ監査調書ニ記錄シ監査ヲ行ヒタル監事之ニ署名捺印スルモノトス

第七條　監事ハ監査ノ結果財產ノ狀況又ハ業務執行ニ付キ不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ直チニ理事ヲシテ整理ヲ爲サシメ且ツ業務ノ執行上必要ノ注意ヲ促スモノトス

第八條　理事ハ監事會ニ必ス立會スルモノトス

第九條　監事及理事監査及立會ヲ爲スニ當リテハ全ク私情ヲ去リ苟クモ監査及立會ニ依リテ知リ得タル組合員個人ノ秘密ヲ漏洩シ或ハ法令及定款ニ定ムル範圍外ニ亘リ監査ノ結果ヲ發表スルコトヲ嚴禁スルモノトス

（第一號樣式）

監　査　調　書

一、監査ヲ行ヒタル年月日　昭和　年　月　日
二、監査ヲ行ヒタル監事ノ氏名　監事　何　某　同　何　某
三、立會シタル理事其他ノ氏名　理事　何　某　同　何　某
四、整理事項
1. 何　〃

2.何　〃

五、注意事項

1.何　〃

2.何　〃

六、監査成績ノ概評

1.何　〃

2.何　〃

昭和　年　月　日

監事　氏　名㊞

同　氏　名㊞

信用程度評定規定

第一條　信用評定委員ハ定款規定ニ依リ定期會ヲ開キ其ノ他必要ニ應シ臨時會ヲ開キ組合員各自ノ信用程度ヲ評定シ信用程度表ヲ作成スヘシ

第二條　信用評定委員會ハ組合長之ヲ招集ス

第三條　信用評定委員會ニ於テハ毎會互選ヲ以テ委員長ヲ定メ之カ整理ニ當ラシムルコトヲ得但シ組合長ヲシテ議長トナスコトヲ得

第四條　信用程度ノ査定ハ左ノ標準ニ據ルモノトス

イ、對人信用　五〇〇　ロ、對物信用　五〇〇

第五條　組合員各自ノ得點ハ之ヲ合計シテ信用程度表ヲ作成スルモノトス而シテ組合員各自ノ貸付最高金額ハ對人信用及對物信用ノ滿點ノ合計ヲ以テ貸付最高限度額ヲ除シテ得タル數ニ組合員各自ノ得點合計ヲ乘シタルモノトス

第六條　信用評定委員會ニ於ケル評定方法ハ信用評定委員ノ合議ニ依ル但シ投票ニ依リ又ハ多數決トナスコトヲ得

第七條　信用程度表ノ作成ハ次ノ樣式ニ據ル

昭和　年　月　日信用評定委員會ニ於テ組合員ノ信用程度ヲ評定スルコト別冊之通リニ候也

信用評定委員　氏　名㊞

同　上　氏　名㊞

對人信用			對物信用			計	氏名
勤勉	平素ノ心掛	家庭狀態	拂込濟出資金	財產	等級		
二〇〇	一五〇	一五〇	一五〇	二〇〇	一五〇	一、〇〇〇	何某

服務心得

第一條　應接ハ親切ヲ旨トスヘシ

第二條　法ハ最モ嚴正ニ苟クモ情ヲ以テ曲ルヘカラス

第三條　事務ハ敏活ナルヘク且ツ細心ノ注意ヲ用ヒ苟クモ寸毫ノ錯誤ナキヲ期スヘシ

第四條　其ノ日ノ出來事ハ其ノ日ニ處理スヘシ

第五條　事務員ハ始業時間前事務所ニ參着シ出勤簿ニ捺印シ始業準備ヲナスヘシ

第六條　病氣其ノ他事故ニ因リ缺勤若クハ遲刻スルトキハ其ノ旨組合長又ハ專務理事ニ屆出ツヘシ早退モ亦同シ

第七條　事務員ハ職務上ニ關シ組合長ノ承諾ヲ經スシテ自己ノ名義ヲ以テ文書ヲ往復スヘカラス

第八條　事務員ハ組合員ノ信用狀態及取引上ニ關シテハ常ニ秘密ヲ守リ決シテ之ヲ他ニ洩スヘカラス

第九條　事務其ノ他ノ要用ニテ他ヘ出張ヲ要スル場合ハ組合長之ヲ命ス

第十條　出張用務ヲ了シタルトキハ組合長又ハ專務理事ニ其ノ要領ヲ口頭又ハ書面ヲ以テ復命スヘシ

第十一條　事務員ハ常ニ嚴肅ヲ旨トシ用務ノ妨ゲトナラサル樣注意シ同僚ニ親密ニ相互幇助シ意志ノ粗隔ヲ生セサル樣努ムルハ勿論用務者ニ對シテハ親切叮嚀ニ取扱フヘシ

第十二條　事務員ハ組合長ノ許可ナクシテ他ノ業務ニ關係スヘカラス特ニ其ノ委任若クハ指圖ヲ受ケタル事件ノ外自己ノ考察ヲ以テ契約又ハ承認ヲ爲スヘカラス

第十三條　退所スルトキハ各自主管ノ文書簿冊ヲ收藏シ机上ニ書類其ノ他傳票

ヲ散亂シ又ハ組合長ノ許可ナクシテ廢棄スヘカラス

第十四條　組合事務所方面ニ失火其ノ他變事アルトキハ速ニ出頭シテ臨機ノ處置ヲ執ルヘシ

第十五條　退職ノ場合ニハ十日以内ニ未決書類ヲ整理シ一切ノ書類ト共ニ後任者ニ引繼クヘシ第十六條事務員組合ノ規定ニ背キ故意ニ當組合ノ信用ヲ傷ケ若クハ業務ヲ妨ゲ又ハ損害ヲ與ヘ其ノ他不都合ノ所爲アリタルトキハ其ノ輕重ニ依リ適當ノ處分ヲ爲ス但シ組合ニ於テ被リタル損害ヲ計算シ得ヘキモノハ本人ヲシテ辨償セシムルモノトス

第十七條　事務員ハ組合ニ於テ確實ト認ムル二名以上ノ身元保證人ヲ立テ別紙樣式ニ據リ之ヲ差出サシム但シ時宜ニ依リ現金五百圓以上又ハ之ニ相當スル有價證券ヲ以テ身元保證ノ補足トシテ領置スルコトアルヘシ其ノ有價證券ノ評價ハ當組合ノ評定ニ依ル

諸給與規定

第一節　報酬及給料

第一條　組合長及專務理事ノ報酬ハ總會ニ於テ定メタル額ヲ各月割トシ事務員及技術員給料ハ月額ヲ各毎月二十五日ニ使役人ノ賃金ハ毎月末ニ支給スルモノトス但シ休日ニ當ルトキハ繰上ケトス

第二條　組合長、專務理事以外ノ理事及監事、信用評定委員ノ報酬ハ總會ニ於テ定メタル額ヲ各年度末ニ支給シ其ノ他役員カ事務ノ爲メ出勤シタルトキハ日數ニ應シ隨時之ヲ支給ス

第三條　新ニ就職シタル者及增給減給ノトキハ發令ノ翌日ヨリ日割ヲ以テ支給シ退職又ハ死亡ノトキハ當月分全額ヲ支給ス

第四條　病氣其ノ他私事缺勤三十日ヲ超ユルトキハ俸給ヲ支給セサルモノトス但シ執務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタルモノハ此ノ限ニ非ラス

第五條　退任者事務引繼又ハ殘務整理ノ爲メ勤務スルトキハ日割ヲ以テ從前ノ報酬給料ヲ支給ス但シ當月分全額ヲ給シタルモノハ此ノ限ニアラス

第六條　事務員及使役人ニシテ其ノ成績良好ナルモノニハ年度末ニ於テ慰勞金ヲ給與スルモノトス其ノ額ハ組合長、專務理事合議ノ上之ヲ定ム

第七條　組合業務ニ關シ他ヘ出張スルモノニハ左表ニ依リ旅費ヲ支給ス

職名	宿泊料	日當	汽車賃	汽船賃	車馬賃
理事及監事	貳圓五拾錢	壹圓貳拾錢	三等實費	二等實費	電車及自動車共實費
事務員	貳圓	壹圓	同右	同右	同右

但シ在勤所在地ヨリ往復二里未滿ノ旅行ニ付テハ宿泊シタル場合ヲ除クノ外日當ハ半額トス

第八條　旅費ハ前條ニ據ラス組合長ノ意見ニテ實費ヲ支給スルコトアルヘシ

第三節　事務員退職手當

第九條　事務員ニシテ滿二ケ年以上勤續シ在職中精勵シ成績顯著ナル者ニハ退職ノ際手當金ヲ給與ス

第十條　退職手當金ハ退職當時ノ給料一ケ月分以内ヲ以テ在職年數一ケ年分ニ當テ其ノ年數ニ應スル金員ヲ一時ニ支給ス但シ一ケ年ニ滿タサル端數ハ切捨トス

第十一條　在職中死亡シタル者ニハ手當金ノ外祭粢料トシテ給料ノ二ケ月分以内ヲ其ノ遺族ニ支給ス

退職給與金支給規定

第一條　本組合ノ役職員ニシテ退職シタルトキハ本規程ノ定ムル所ニ依リ退職給與金ヲ支給ス

第二條　本組合ノ職員トハ定款並事業執行細則ノ規定ニ依リ組合長ヨリ任命又ハ囑託ヲ受ケ事務ニ參與スル者ヲ謂フ

第三條　在職年數ノ計算ハ就職ノ月ヨリ之ヲ起算シ退職又ハ死亡ノ月ヲ以テ終ル

第四條　本規定ニ依リ退職給與金ヲ受ケタル者再就職シタルトキハ前任在職年數ハ之ヲ算入セス

第五條　役員及囑託職員ニ對シテハ理事會ニ於テ支給額ヲ定ム

第六條　職員在職年數三年以上ニシテ退職シタルトキハ左ノ給與金ヲ支給ス

滿三年以上　退職當時ノ俸給月額　二ケ月分

同四年以上　同　三ケ月分
同五年以上　同　四ケ月分
同六年以上　同　五ケ月分
同七年以上　同　六ケ月分
同八年以上　同　七ケ月分
同九年以上　同　八ケ月分

職員在職年數十年以上ニシテ退職シタルトキハ退職當時ノ俸給月額ニ在職年數(一年未滿ハ切捨)ヲ乘シタル金額ヲ支給ス

勞績顯著ナル者ニ對シテハ第一項ノ者ニ在リテハ規定額ノ一割以內第二項ノ者ニ在リテハ同上二割以內ヲ各增給スルコトヲ得

前項ノ規定ハ特ニ必要アリト認メタル場合ニ於テ理事會ニ附議シ更ニ增給スルヲ妨ケス

第七條　役職員左ノ各號ノ一ニ該當シ退職シタルトキハ退職給與金ヲ支給セス

一　職務上ノ義務ニ違背シ職務怠慢ト認メ解職セラレタルトキ

一　役職員タル體面ヲ汚シ信用ヲ失スヘキ行爲アリト認メ解職セラレタルトキ

第八條　役職員在職中死亡シタルトキハ第五條及第六條ノ規定ニ準シ給與金ヲ其ノ遺族ニ支給ス

組合員救濟並ニ弔慰規定

第一條　組合員中水、火難其ノ他避クヘカラサル災害又ハ不幸ニ遭遇シタルトキハ金拾圓以內ノ見舞金ヲ贈ルモノトス但シ其ノ額ハ理事會ニ諮リ之ヲ定ム

第二條　前條ニ該當シタル組合員中將來家計ヲ維持スルニ困難ト認ムルモノニシテ確實ナル保證人ト共ニ救濟資ノ借入ヲ申込ミタルトキハ理事ハ貸付金高及利率並ニ返還方法ヲ定メ貸付ヲ爲スコトアルヘシ

第三條　救濟資金ノ償還又ハ利息ノ納付ヲ怠リタルトキハ殘高ヲ一時ニ償還セシメ利息ヲ普通資金ト同一ノ利率ニ變更スルコトアルヘシ

第四條　組合員死亡シタルコトヲ知リタルトキハ役員、會葬シ金壹圓ヲ香奠トシテ供進スルモノトス

附則

本規定ハ決議ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（樣式）

印紙

身元引受證

何　某

右何某儀今般貴組合書記（何々）ニ御採用相成候ニ付テハ貴組合ノ御規則遵守致サス可クハ勿論品行方正確實ニ業務ニ從事セシメ萬一金錢上ノ不正其ノ他不都合ノ所爲アリタルトキハ御指揮ニ從ヒ拙者共ニ於テ引受ケ辨償ノ責ニ任ジ決シテ貴組合ニ對シ御損害等相掛ケ申間敷依テ連署ヲ以テ身元引受證差入候也

年　月　日

本人　住所　氏名　㊞

引受人　住所　氏名　㊞

引受人　住所　氏名　㊞

何組合　御中

引繼書

本組合事務別紙明細書ノ通正ニ引繼候也就テハ萬一右明細書ノ內容ニ相違ノ廉アリタルトキハ引渡人ニ於テ責任ヲ負フコトヲ誓約致候仍テ後日ノ爲關係者一同署名捺印候也

年　月　日

引渡人

何組合元理事　何　某　㊞

引受人

何組合理事　何　某　㊞

立會人

何組合監事　何　某　㊞

引繼明細書

一、財產目錄

二、貸借對照表

三、有價證券

種類	其數	額面	評價金額
計			

四、預金

預入先	預入種類	現在金額
計		

五、借入金

借入先	借入年月日	期限	現在金額
計			

六、不動產及什器

種別	員數	評價額
計		

七、證書及帳簿ノ種類

種別	員數	摘要
計		

八、貸付金

證書番號	證書額	現在金額	期限	擔保保證人	組合員氏名
計					

九、擔保品

種別	員數	評價額	提供者氏名
計			

十、未拂金

氏名	金額	摘要
計		

十一、貯金

金額	氏名	金額	氏名
計			

十二、未收貸付金利息

證書番號	金額	組合員氏名
計		

未拂貯金利息アルトキハ本表ニ準ス

十三、販賣品

品名	數量	摘要
買取計		
受託計		

十四、未收販賣品代

販賣先	金額
計	

未拂販賣品代アルトキハ本表ニ準ス

十五、購買品

品名	數量	摘要
計		

十六、未收賣却代

氏名	金額
計	

未拂購買品代アルトキハ本表ニ準ス

十七、利用設備

種別	數量	評價額	摘要
計			

十八、未收利用料

氏名	金額
計	

十九、演述

一、

二、

三、

決算手續

決算トハ一事業年度(一營業期間)內ニ生シタル總ヘテノ取引ノ財產ニ及ホシタル結果ヲ計算シ事業上ノ損益及年度末ニ於ケル資產負債ノ現況ヲ明確ニシ且帳簿ノ狀態ヲ次期ノ記帳ニ便利ナル樣ニ締切繰越ヲ爲シ置ク手續ニシテ其ノ方法左ノ如シ

○年度末ニ取引終了シ記帳ヲ終ヘタルトキハ先ツ試算表ヲ作製シ元帳各口座ノ記帳ニ誤無キヤ否ヤヲ確ムルコト

○補助簿ノ各殘高ノ合計ト元帳ニ於ケル當該口座ノ殘高トノ照査ヲ爲スコト但シ販賣品受拂臺帳、購買品受拂臺帳ニ付テハ買入金額、販賣(又ハ賣却)ノ金額ヲ集計シ元帳ノ受入(販賣又ハ賣却總高)支拂(買入ノ總高)ノ合計ト一致スルヤ否ヤ照査スルコト

○年度末ニ於テ組合カ所有スル動產、不動產(事務所、倉庫、土地、機械、有價證券、販賣品、購買品其他)ノ現物ヲ調査シテ之ヲ評價シ且債權債務ニ付テハ償還ノ確否ノ程度ヲ調査シ又當年度ノ損益ニ屬シテ未收、未拂ノ形ニアル(期限未經過ノ收入ヲモ含ム)金額ヲ計算シテ之等ヲ棚卸表ニ記載スルコト

○棚卸表ニ於テ調査シタル事項ヲ夫々關係帳簿ニ記載スルコト

○補助簿ヲ締切ルコト

○日記帳ノ受入、支拂ヲ合計シ其ノ殘高ヲ求メテ締切ルコト

○元帳各口座ヲ締切ルコト

(イ) 元帳ニ資產負債勘定及損益勘定ノ二口座ヲ設クルコト

(ロ) 元帳各口座ノ受拂合計ヲ作リ其ノ差引殘高ヲ求メ資產負債ニ屬スル勘定ニ付テハ其ノ摘要欄ニ資產負債ト朱記シ其ノ殘高ヲ受拂反對ニ朱記シ之カ平均ヲ爲サシメ締切ルコト又損益ニ屬スル各勘定ニ付テハ摘要欄ニ損益ト朱記シ資產負債勘定ト同樣殘高ヲ受拂反對ニ朱記シテ締切ルコト

○元帳各口座ノ締切ヲ爲スト同時ニ各殘高ヲ資產負債勘定、損益勘定ニ從ヒ夫々右ノ口座ニ轉記スルコト

○日記帳ノ現金殘高ヲ資產負債勘定ノ支拂(貸方)ノ方ニ轉記スルコト

○損益勘定ノ受拂合計ヲ作リ其ノ殘高ヲ求メ資產負債勘定ニ轉記スルコト但シ受入カ多ケレハ「剩餘金」支拂カ多ケレハ「損失金」トシテ摘要ニ記入スルコト

○斯クシテ資産負債勘定ノ受拂ヲ合計スルトキハ相平均スルヲ以テ之ヲ締切ルコト

以上ノ資産負債勘定及損益勘定ヨリ財産目錄(棚卸表參照)貸借對照表損益計算書ヲ其ノ他元帳、組合員名簿、補助簿等ヨリ事業報告書ヲ作製スルコト

○次年度ノ帳簿ニ繰越ヲ爲スコト

(イ) 日記帳ヘハ、前日記帳ノ現金殘高ヲ繰越スコト

(ロ) 元帳ヘハ、前元帳ノ現金以外ノ資産負債勘定各科目ヲ繰越スルコト

(ハ) 其ノ他更メラレタル補助簿ヘハ、前該當補助簿ノ殘高ヲ繰越スコト

總會ニ關スル事項

(一) 開會前ニ於ケル手續

一 理事ハ總會ノ會日ヨリ七日前ニ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ作製シ、之ヲ監事ニ提出スルコト

二 監事ハ前號ノ書類ヲ調査シ關係帳簿及書類ト對照シ、意見ヲ付シテ理事ニ還付スルコト

三 總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ定款ニ規定セル方法ニ從ヒテ之ヲ爲シ開會日時會場及付議スヘキ事項ヲ各組合員ニ通知スルコト

(二) 付議スヘキ事項

總會ニ付議スヘキ事項ハ組合事業ノ種類及組合ノ狀態ニ依リ異ナルモ、參考ノ爲重ナル事項ヲ掲記スレハ左ノ如シ

一 前年度財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ノ承認ヲ求ムルコト

二 其ノ年度ニ於ケル借入金ノ最高限度

三 同上一組合員ニ對スル貸付金ノ最高限度(信用組合及信用兼營組合ニ限ル)

四 理事、監事及信用評定委員ノ改選

五 準備金、特別積立金及餘裕金ノ預入先

六 準備金及特別積立金ヲ事業資金ニ融通セムトスルトキハ、之カ承認ヲ求ムルコト

七 事業執行細則、議事細則設定(既ニ設定シタルモノハ必要ナシ)

八　販賣組合、購買組合又ハ利用組合ニ於テ定款ニ明記セル物品又ハ設備ノ外總會ノ決議ヲ經テ他ノ物品ヲ取扱ヒ又ハ他ノ設備ヲ備付ケムトスルトキハ其ノ物品又ハ設備

九　特別積立金ヲ臨時ノ費途ニ使用セムトスルトキハ其ノ處分

一〇　販賣組合ニ於テ品等査定ノ標準ハ總會ノ決議ヲ以テ決定スル定款ノ規定ナルトキハ其ノ査定標準

一一　委託主義ノ販賣組合ニシテ歩合金、手數料等ノ額ハ總會ノ決議ヲ以テ定ムル定款ノ規定ナルトキハ其ノ額

一二　定款ノ變更(變更セムトスル條文ヲ記載ノコト)

一三　任意脱退者持分拂戻ニ對スル止ムヲ得サル事由ノ認定

一四　加入金ノ額ヲ毎年總會ニ於テ決定スル定款ノ規定ナルトキハ其ノ額

尙理事者ハ前以テ定款ヲ熟讀シ法令ヲ研究シ組合ノ事業ニ鑑ミ周到ナル注意ヲ拂ヒ遺漏ナキヲ期セラルヘシ尙決議ノ方法ハ法令及定款ノ規定ニ違背セサル樣注意スルヲ要ス

(三)　決　議　錄

左記樣式ニ依ルコト

總會決議錄

一　招集通知年月日

二　開會ノ年月日及時刻

三　開會ノ場所

四　組合員(總代)ノ數

五　現ニ出席シタル組合員(總代)ノ數

六　議決權ノ代理ヲ委任シタル組合員(總代)ノ數

七　議事ノ要領及結果

議案第一號　第何年度(自昭和年月日至昭和年月日)財産目錄、貸借對照表、事業報告書、剩餘金處分案議決並承認ノ件

(決議)　可決並ニ承認

議案第二號　第何年度ニ於テ組合カ借入ル、コトヲ得ヘキ借入金最高限度額決議ノ件

（決議）何　圓

議案第三號　第何年度ニ於テ一組合員ニ貸付シ得ヘキ貸付金最高限度額決議ノ件

（決議）何　圓

議案第四號　第何年度ニ於ケル本組合餘裕金預入先銀行決議ノ件

（決議）何銀行、何銀行何支店

議案第五號　第何年度ニ於テ本組合ノ準備金及特別積立金ヲ事業資金ニ融通スルノ件

（決議）可　決

議案第六號　理事監事全員任期滿了ニ付改選ノ件

（決議）議長ノ指名ニ依リ左ノ者當選ス

再選　理事　何某

再選　理事　何某

新選　理事　何某

新選　理事　何某

再選　監事　何某

新選　監事　何某

議案第七號　定款ヲ左ノ通リ變更ス

（例示）

1　全條改正又ハ末尾ニ箇條ヲ追加スル場合

第　條……（全文記載ノコト）

2　條項中其ノ一部ヲ變更セムトスル場合

イ　第　條（第　項）中「……」ヲ「……」ト改ム

ロ　第　條（第　項）中「……」ノ次ニ「……」ノ何字ヲ加フ

ハ　第　條（第　項）中「……」ノ次ノ「……」ノ何字ヲ削ル

3　項又ハ但書ヲ加ヘ或ハ削ル場合

イ　第　條第　項「但書」ヲ削ル

ロ　第　條第　項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

ハ　第　條（第　項）ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ……

4　條ト條トノ間ニ新ニ一箇條ヲ追加スル場合

第　條ノ二……

5　附則ノ立テ方

附則ニハ條ヲ設ケス

（注意）但書ハ例外ヲ示ス場合ニ限リ設クルコト且必ス本文ニ連續スヘシ

（決議）可　決

右相違ナキヲ證スル爲左ニ記名捺印候也

議長　組合長　何　某㊞

署名員　何　某㊞

同　何　某㊞

（附記）

決議錄ノ謄本又ハ右末尾ニ左ノ證明ヲ要ス尙ホ抄本ハ「決議錄第七號議事ノ要領決議ノ事項」中關係事項ノミヲ拔記セバ可ナリ

此ノ謄本（抄本）ハ原本ニ依リ之ヲ作リ玆ニ原本ト相違ナキコトヲ證明ス

昭和　年　月　日

理事　組合長　何　某㊞

昭和十一年十二月五日　印刷
昭和十一年十二月十日　發行　（非賣品）

發行所　石川縣廳內
　　産業組合中央會石川支會

編輯兼發行者　金澤市上本多町川御亭一五ノ二
　　辻　常造

印刷者　金澤市殿町九番地
　　宇野孝太郎

印刷所　金澤市殿町九番地
　　活文堂

340
628

印刷所　東京市麻布区霞町十番地　文光堂
発行所　東京市麻布区霞町十番地　宇佐美書店
発行者　宇佐美　常
編輯兼印刷人　東京市本郷区駒込千駄木町五番地　小川雄
印刷者　東京市麻布区霞町十番地　文光堂
発行所　東京市麻布区霞町十番地　宇佐美書店
発行者　宇佐美　常
編輯兼印刷人　東京市本郷区駒込千駄木町五番地　小川雄
印刷者　東京市麻布区霞町十番地　文光堂
昭和十一年十二月十日　発行
昭和十一年十二月十日　印刷
昭和十一年十二月十日　印刷
（非賣品）